

中央病院

中央病院は、最新の医療設備 × ゆとりの療養環境 × 災害に強い機能で、地域医療の要としての役割を果たします。また、高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターなどの施設が充実しているので、看護師として成長できる環境です。

重症救急患者の最後の砦として、愛媛県の救急医療を支える 高度救命救急センター



救急搬送患者受入れ

県原子力防災訓練時の搬送患者受入れ

愛媛県全域を対象に24時間体制で高度な周産期医療を提供する 総合周産期母子医療センター



NICU (新生児特定集中治療室)



新生児救急車「あいあい号」には病院の集中治療室と同程度の機器が積載されており、新生児専門医師が治療をしながら搬送することが可能です。



当院は10年以上にわたって、母乳育児支援に取り組んだ結果、平成20年8月、ユニセフから「赤ちゃんにやさしい病院」Baby Friendly Hospitalに認定されました。

福利厚生施設



レストラン



喫茶



売店

愛媛県立病院 看護部の理念

愛媛県立病院看護部は県民の皆様の人権を尊重し、社会環境の変化や医療の進歩に対応した、安全で信頼される質の高い看護を提供します。

救急患者さんの救命率向上に向けて



平成29年2月から
運航開始

ドクターカー

新居浜病院

新居浜病院は、令和5年2月にグランドオープンしました。地域から信頼され、必要とされる病院を目指すことを理念に掲げ、患者さんの利用しやすいワンフロア外来、小児・産婦人科のワンフロア配置、災害に強くまた災害に活用可能な多目的スペース、スタッフの働きやすさへ配慮した配置等の環境を整えました。

県産材を活かした親しみやすい外観 新診療棟



概要

延床面積 19,998.14 m²
階数 地上6階 塔屋2階
構造 鉄筋コンクリート造
及び鉄骨造(免震構造)
診療科数 22診療科
病床数 208床



ヘルスケアモール

東予地域の救命救急医療を担う 東予救命救急センター



屋上ヘリポート



ハイブリッド初療室



ICU



手術室

宇摩、新居浜・西条圏域における周産期医療を担う 地域周産期母子医療センター



NICUの看護



分娩室



内診観察室

新居浜・西条圏域の災害医療を担う「災害に強い病院」 災害拠点病院



免震構造



非常用発電機



井水を活用した給水設備

概要

延床面積 66,807m²
階数 地下2階/地上12階/塔屋2階
主体構造 鉄筋コンクリート造(免震構造)
診療科数 33診療科
病床数 827床
(高度救命救急センター、総合周産期母子医療センターを含む)
駐車場 785台